

# あすなろ

2024年 2月 28日

みみレター 第10号

兵庫県立姫路聴覚特別支援学校

校内支援部 (文責 坪田)

## <本の紹介>

# げんご ほんしつ 言語の本質

## ことばはどう生まれ、進化したか

いまい 今井むつみ あきたよし 秋田喜美 著

私たちが人間は、ことばを使ってお互いに意思を伝えたり、自分の経験したことや考えたことを伝えたりすることができます。私たちのこの能力はどのようにして生まれ、進化してきたのでしょうか。また、子供はどのようにしてことばを身に付けるのでしょうか。

この本は認知科学・発達心理学を研究している今井むつみ先生と言語学を研究している秋田喜美先生が力を合わせて執筆され、言語の誕生と進化の謎に迫った内容となっています。

## <感想>

なぜ小さい子供や周りの大人たちはワンワンやコロコロといった「オノマトペ」をよく使うのでしょうか。この本では「オノマトペ」には「アイコン性」があり、「オノマトペ」を聞く事で大きさや形状、動きなどのイメージが浮かぶため、ことばを覚え始めた子供にとって、「ことばが物や動きを象徴するものだ」という理解に結び付きやすいといえます。

また、子供がことばの世界を広げていく時に、様々な推論をしながら、ことばの品詞やことばとことばの境界などを身に付けていきます。この時に子供はほかの動物のしない「アブダクション推論」（仮説形成推論）というものを行って、ことばの関係の仮説を立て、検証しているといえます。このようにして修正を繰り返して膨大な語彙の体系を作り上げるのです。

聴覚特別支援学校において、ことばの獲得というのは永遠の課題です。この本を読んで、乳幼児期に様々な体験をして、その体験を言語化することの大切さと、子供が主体的にコミュニケーションを取るための大切さを考えさせられました。



# さいきん ほちょうき ＜最近の補聴器＞

さいきん そうごうしえんほうたいおう ほちょうき さいきん さいきん さいきん  
最近の総合支援法対応の補聴器はBluetoothを内蔵しているものが増えてきています。Bluetoothを内蔵することにより、スマートフォンとつないで通話の音声を直接補聴器に飛ばして聞けたり、YOUTUBEやサブスク（サブスクリプション）の音楽を補聴器で聞いたりすることもできます。

オーティコン（デマント・ジャパン株式会社）の補聴器では高度用のG300-SCや重度用のエクシードプレイ2-SPとUPがBluetoothを内蔵しています。

フォナック（ソノヴァ・ジャパン株式会社）の総合支援法対応補聴器では、今までは高度用のスカイM（マーベル）30-SPだけがBluetoothを内蔵していましたが、昨年は重度用のスカイL（ルミティ）30-UPがBluetoothを内蔵する補聴器として加わりました。

フォナックの総合支援法対応補聴器のラインナップには補聴器助成制度に対応した軽・中等度難聴児向けの補聴器もあります。中等度難聴児向けにはスカイM30-PRという充電式の補聴器（充電器が別途必要）、軽度難聴児向けにはスカイM30-MというPR-41（312）電池という小さい電池を使う小型の補聴器となっています。いずれもBluetooth内蔵です。

## ＜オーティコン＞



G300-SC



エクシードプレイ 2-SP

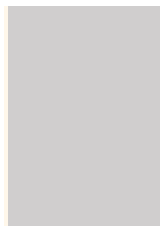


エクシードプレイ 2-UP

## ＜フォナック＞



スカイ M30 -SP



スカイ L30 -UP



スカイ M30 -PR



スカイ M30 -M

がつ  
3月

ほちょうきてん らいこうび  
**補聴器店 来校日**

＜ 13:10～ 通級教室 ＞



□神戸ヒヤリングセンター 3月 14日（木）

□トーシン姫路補聴器センター 3月 1日（金） 15日（金）

補聴器の故障や買い替え、イヤードの作り替えの際は、補聴器店 来校日を確認して、担任にお申し出ください。